

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千五百八十五號

昭和十五年八月二十一日(水)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第五五八七號

昭和十三年勅令第五百六十六號第一項ノ規定ニ依リ海軍所屬ノ技師又ハ技手ノ職ニ在リタル者ヨリ本年六月二十六日附任用セラレタル海軍造機科、造兵科士官ノ任用官等ニ於ケル實役停年ニハ海軍文官タリシ在職期間ヲ昭和十四年官房機密第四〇三八號ノ例ニ依リ通算スルモノトス

昭和十五年八月二十日

海軍大臣

官房機密第五五九八號

昭和十五年八月二十日

内令提
要登載

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十四年官房機密第七〇六三號別表中左ノ通改正ス

海軍公報(部内限)第三千五百八十五號

昭和十五年八月二十一日

九三七

海軍潜水學校ノ項中「長鯨」ノ下ニ「親潮」ヲ加フ

(内令提要卷三、六〇頁参照)

○通 牒

恩第四一四號

昭和十五年八月二十一日

海軍省人事局長

海軍省醫務局長

關係各廳長殿

恩給法上戰地罹病(結核性疾患)者取扱

方ニ關スル件通牒

支那事變ニ關シ戰地勤務中疾病(恩給法施行令第二十二條所定ノ流行病ヲ除ク)ニ罹リタル者ノ恩給法上ノ取扱ニ關シテハ其ノ罹(發)病ガ戰地ニ於ケル特殊勤務ニ起因スルモノト認ムベキ事實顯著ナル場合ニ限リ之ヲ公務罹病トシテ取扱ハルル趣旨ナル處結核性疾患

ニ付テハ概ネ左記ノ場合之ヲ公務罹病トシテ取扱フ内閣恩給局ノ意向ナルモ之ガ裁定ニ當リテハ本人ノ勤務ト罹病トノ關連ヲ個々ノ書類ニ就キ審査決定セラルル關係上證明書類(主トシテ所轄長作成ノ事實證明書)ニハ勤務狀況、健康狀態(戰地ヨリ歸還後發病ノモノニ付テハ歸還後ノ勤務狀況、健康狀態共)及發病時期等爲シ得ル限リ詳細ニ記載シ戰地勤務ニ就キタル以後需診ニ至ル迄ノ經過ヲ明瞭ナラシムルコトヲ要スル次第ニ有之候條可然取計相成度

追テ發病、罹病ノ用語使用ニ關シテハ顯著ナル症狀ノ顯現(自覺症ヲ含ム)シタル時期又ハ初診ノ時期ハ之ヲ罹病時期トセズ發病時期トシテ關係書類ヲ一様整備ノコトニ取扱ハレ度恩給局ノ要望ニ有之候

記

一、戰地勤務中發病ノモノ但シ該勤務期間概ネ三箇月以内ニ發病シタル者ニ在リテハ戰地ニ向ケ内地出發前ノ出勤準備ノ勤務又ハ出發後ノ勤務狀況顯著ナルモノニ限ル

二、内地ニ於テ繁劇ナル出勤準備ノ勤務ニ服シ戰地ニ向ケ内地ヲ離レタル後其ノ途中ニ於テ發病ノモノ又ハ戰地ヨリ歸還ノ途中ニ於テ發病ノモノ

三、戰地ニ於テ若ハ出征又ハ歸還ノ途中公務ノ爲負傷シ又ハ疾病ニ罹リ療養中(内地ニ歸還シ療養中ノモノヲ含ム)之ガ爲身體衰弱ニ因リ發病ノモノ

四、内地歸還後需診ノ者ニシテ其ノ症狀戰地勤務中既ニ發病シアリタリト認メラルモノ但シ本號ノ場合ニ在リテハ第一號但書ヲ準用ス

五、戰地ニ於テ劇務ニ服スルコト三箇月以上ニ及ビタル者内地歸還後引續キ繁劇ナル勤務ニ服シ又ハ不健康ナル勤務ニ從事シ歸還後六箇月以内ニ發病シ直ニ需診シタルモノ

六、戰地ニ於テ劇務ニ服スルコト一年以上ニ及ビタル者内地歸還後六箇月以内ニ他ニ原因ノ認ムベキモノナクシテ發病シ直ニ需診シタルモノ(此ノ場合ニハ本人ト日常密接ナル關係ヲ有スル者ノ中ニ結核性疾患者ノ有無ニ關シ詳細ナル調書添附ノコト)

○ 雜 款

○將旗移揚
第三聯合航空隊司令官ハ八月十九日將旗ヲ第七基地ヨリ第十二基地ニ移揚セリ

<p>○特務艦石廊行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>吳山 八月二十日 八月二十日</p> <p>德賀 八月二十四日 八月二十一日</p> <p>才賀 九月二日 八月二十六日</p> <p>德山 九月十四日 九月六日</p> <p>吳山 九月十七日 九月十七日</p> <p>才山 十月三日 十月四日</p> <p>德山 十月十二日 十月十五日</p> <p>吳山 十月十五日 十月十五日</p>		<p>○特設運送船甲谷陀丸行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>基隆 九月六日 九月三日</p> <p>佐保 九月十一日 九月八日</p> <p>横須賀 九月十七日 九月十五日</p> <p>大坂 九月十九日 九月十八日</p> <p>吳戸崎 九月二十二日 九月二十一日</p> <p>西戸崎 九月二十五日 九月二十四日</p> <p>長崎 九月二十六日 九月二十六日</p> <p>佐保 九月二十六日 九月二十六日</p> <p>舞鶴 十月一日 九月二十九日</p>		<p>○事務所移轉</p> <p>東港海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ハ八月十二日臺灣高雄市外左營庄佐世保海軍建築部馬公出張所ヨリ臺灣高雄州東港郡東港街字大潭新ニ移轉セリ</p> <p>○改稱</p> <p>臺灣海軍航空廠(假稱)ハ自今高雄海軍航空廠(假稱)ト改稱セリ</p>	
--	--	---	--	---	--

海軍公報(部内限)第三千五百八十五號 昭和十五年八月二十一日

九三九

○ 艦船所在

指印ハ「ハホ」ノ
指定シ要セズ

○ 八月二十一日午前十時

【横須賀】 春日、嚴島、比叡、夕張、日向、迅鯨、

五十鈴、劍埼、瑞穂、駒橋

吹雪

伊五、伊六五、伊六七、伊六六、伊七

掃五、掃六

(高崎)、(翔鶴)、(津輕)、(伊二三)

(伊一七)

【長浦】 沖島

帆風、朝雲、山雲、汐風、紫雲、夏雲

呂五七、呂五八、伊六

掃一、掃二、掃三、掃四

【鶴見】 (國後)

【浦賀】 (早潮)、(時津風)、(萩風)

【館山】 澤風

【國館】 白鷹

【室蘭】 朝風

【室蘭】 大泊

【吳】 淺間、鬼怒、大鯨、妙高、鳳翔、扶桑

長鯨、八雲、初鷹、龍驤、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧

呂六三、呂六八、呂六四、伊五九、

伊六〇、伊一六、伊五三、伊五六、

伊六八、伊七〇、伊六九、伊七一

伊五七、伊五八、伊五四、伊五五

伊七三、伊七二、伊八、伊七五、

伊七四

掃一六、掃一五、掃一三、掃一四

隱戸、間宮、樫野

(日進)、(伊九)、(伊一五)、(伊二七)

球磨

(夏潮)、(浦風)

【神戸】 大井

伊一、伊二、伊三

(瑞鶴)、(伊一〇)、(伊一九)、(伊二〇)、

(伊二一)、(伊二二)、(伊二五)

【玉】 伊四

【因ノ島】 菊月、三日月

【徳山】 石廊

善妻、龍田、長良、名取、蒼鷹、天龍、

【舞鶴】 本曾

伊秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱

伊五二

伊集、鴻、鴨、鶴、千鳥

知床

(天津風)、(嵐)

青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、

海軍公報(部内限)第三千五百八十五號

昭和十五年八月二十二日

九四一

出雲

初春、夕月、卯月、夕風、臯月、戸水無月、長月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六二、戸呂六五、呂六六、呂六七、

戸伊六三、伊六一、伊六四

掃一、掃二、戸掃一〇

敷島、佐多

(八丈) (磯風) (伊一八) (伊二四) (伊二九)

長崎 野島

追風、疾風

安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、伏見、隅田、戸橋立、

鳥海、蝶峨、戸古守、戸磐手、戸千歲、神威、

戸由良、戸多摩、常磐、能登呂、勝力、戸川内、

戸長門、陸奥、山城、伊勢、戸金剛、榛名、

戸加古、古鷹、戸阿武隈、戸赤城、戸高雄、

摩耶、愛宕、戸羽黒、那智、戸熊野、鈴谷、

三隈、最上、戸利根、筑摩、戸那珂、

戸飛龍、蒼龍、戸神通

栗、梅、蓮、戸朝風、松風、戸子日、若葉、

初霜、戸春風、旗風、沖風、峯風、戸神風、

波風、野風、沼風、戸如月、彌生、望月、

睦月、戸東雲、白雲、叢雲、薄雲、

航海中

尻矢 (十日羅府發「ホノルル」へ)

香取、鹿島 (十八日大湊發「鎮海」へ)

宗谷 (十九日敷香發「オハ」へ)

親潮 (二十日舞鶴發「吳」へ)

戸朝霧、天霧、夕霧、戸村雨、春雨、夕立、

五月雨、戸江風、涼風、海風、山風、

戸白露、夕暮、有明、時雨、戸綾波、浦波、

戸大潮、朝潮、荒潮、滿潮、戸黒潮、雪風、

初風、戸波、霞、陽炎、不知火、曉、

雷、電、戸響、戸潮、曙、漣、朧、戸初雪、

白雪、矢風

戸呂三四、呂三三、戸伊一二一、伊一二二、

戸伊一二四、伊一二三、呂五九

鷺、鳩、雉、戸女鶴、初雁、眞鶴

掃七、掃八、掃一七、戸掃一八、掃九

戸朝日、鳴戸、室戸、鶴見、攝津、早瀬、

襟裳、明石

(部 内 限)

海軍公報 (部内限) 第三千五百八十六號

昭和十五年八月二十二日 (木)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一五四三號ノ一〇
昭和十五年八月二十二日
海軍大臣

款	項	目	節	細節	會計科目 電信略號
(艇製造費)	(艇製造費)	(造船費)		第七十四號驅逐艦 (前段)	五リ
		(造兵費)		第七十四號驅逐艦 (前段)	九フ
○ 通 牒					

官房機密第五三七號

昭和十五年八月十九日

海軍次官

關係各廳長殿

航空機搭乗者ノ員數ニ關スル件申進

内令第五百二十七號ヲ以テ航空機搭乗者配員標準制定
相成候處日常飛行訓練ニ於ケル能率増進上要スレバ搭
乗者數ヲ同配員標準ノ外三名以內 (九七式飛行艇ニ在
リテハ六名以內) 増加シ又特殊ノ任務作業ノ爲特ニ必
要ナル場合ニ限リ搭乗者數ヲ同配員標準以上ニ適宜増
加シ得ルコトニ定メラレ候但シ飛行機總重量ハ規定過
荷重ヲ超過セザルヲ要ス追テ固有座席數以上ノ人員ヲ
搭乗セシムル場合ニハ飛行機重心點ノ移動ニ關シ保安
上充分ノ顧慮ヲ拂ハレ度

軍務一機密第五〇七號

昭和十五年八月十九日

海軍省軍務局長
海軍航空本部長

海軍公報 (部内限) 第三千五百八十六號

昭和十五年八月二十二日

九四三

關係各廳長殿

航空機搭乗者標準ニ關スル件通牒

昭和十一年航空機密第二三三三號通牒首題ノ件ハ内令第五百二十七號ニ依リ自然消滅ノ義ト了知相成度^濟

燃廠機密第五二號ノ三七

昭和十五年八月十七日

海軍燃料廠

關係各部御中

「ドラム」罐詰航空揮發油品種識別ニ

關スル件通知

近時當廠ニテ荷造配給セシ「ドラム」罐詰航空揮發油中軍需燃第二二三號通牒ニヨル「ドラム」罐胴板中央記入ノ白線ガ褐色ニ變ジタルモノ有之候モ右ハ「ドラム」罐塗裝用黒色エナメル塗料不足ノタメ製罐業者ニ於テ代用塗料ヲ使用セシタメ白色線ガ褐色ニ變色シタルモノニシテ内容油ニハ何等差異無之モノニ付御了承相成度
尙代用黒色エナメル塗料ニ關シテハ目下研究中ニ有之候

○ 辭令

軍令部出仕兼海軍省 田代海軍機關中佐 有本 寛
京城監理官ヲ命ス(海軍省) 通信事務官 柿澤 正規

第四海軍軍用郵便所長ヲ免ス

(各通) 遞信局書記 有澤 外次郎
通信書記 高田 要

第四海軍軍用郵便所員ヲ免ス(海軍省)

○ 雜款

○將旗一時移揚
第二遣支艦隊司令長官ハ八月二十日將旗ヲ一時島海ヨリ占守ニ移揚セリ

大湊要港部司令官ハ八月十九日將旗ヲ一時大泊ニ移揚セリ

○正誤
本月十六日通牒欄「契約機密第五〇三號」ハ「經契機密第五〇三號」ノ誤^濟

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホセノ
指定ヲ要セズ

○八月二十二日午前十時

【横須賀】春日▲巖島、比叡、夕張、日向、迅鯨、

吹雪
五十鈴、劍埼▲瑞穂、駒橋

伊五▲

伊六五▲、伊六七、伊六六、伊七

伊五三、伊五四、伊五七、伊五六、

伊五八

掃五▲、掃六▲

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲

(伊一七)▲

【長浦】▲沖島

帆風、戸朝雲、山雲、汐風、峯雲、夏雲

戸呂五七、戸呂五八、伊六

掃一、掃二、戸掃三、掃四

【鶴見】(國後)▲

【浦賀】(早潮)▲、(時津風)▲、(萩風)▲

【館山】澤風▲

【函館】白鷹

戸朝風

【室蘭】大泊

【吳】淺間、鬼怒▲大鯨▲妙高▲風翔、扶桑▲

▲長鯨、八雲▲、初鷹▲、龍驤▲、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧

戸呂六三、戸呂六八、戸呂六四、伊五九、

伊六〇、伊一六

伊六八▲、伊七〇▲、伊六九▲、伊七一▲

伊七三、伊七二、伊八、戸伊七五、

伊七四▲

雁 掃一六▲、掃一五▲、戸掃一三、掃一四

隱戸、櫻野

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

球磨

(夏潮)▲、(浦風)▲

【神戸】大井▲

戸伊一▲、伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲

(伊二一)▲、(伊二二)▲、(伊二五)▲

伊四▲

【因ノ島】菊月、戸三日月

【舞鶴】吾妻▲、龍田▲、長良▲、名取、蒼鷹、天龍、

木曾▲

戸秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱

伊五二▲

戸隼▲、鴻▲、鴨▲、鵠▲、千鳥

知床

(天津風)▲、(嵐)▲

【佐世保】青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、

海軍公報 (部内限) 第三千五百八十七號

昭和十五年八月二十三日(金)

海軍大臣官房

海軍事務官 小野房次郎

○通牒

軍務一機密第四一八號ノ二

昭和十五年八月二十三日

**内令提
要登載**

海軍省軍務局長

關係各艦長殿

昭和十六年海軍省第一〇一號
艦船宛郵便物及有線電報ニ關スル件申改
正ノ件申進

本年七月十七日附軍務一機密第四一八號申進首題ノ件
中第一號(ハ)次ニ左記ヲ追加セラレ度

記

(ニ) 行動スル艦船ニシテ其ノ行動先ニ郵便物發送ヲ要
スルモノハ其ノ發送先ヲ各鎮守府要港部又ハ海軍省
ヲ經由シテ各其ノ所在地郵便局ニ通知スルモノトス
(昭和十五年七月十七日本欄参照)

○辭令

紀元二千六百年特別大演習觀艦式事務委員ヲ命ス
(海軍省)

○雜款

○將旗掲揚
第十一根據地隊司令官ハ八月二十一日將旗ヲ沖島ニ掲
揚セリ

○郵便物發送先
在支艦船宛
從前通

**内令提
要登載**

第四艦隊各艦宛
軍務一機密第四一八號ニ依ルノ外通常郵便物及小
包郵便物(特種郵便物ヲ含ム)ノ宛名ハ
從前通

聯合艦隊各艦宛
軍務一機密第四一八號ニ依ルノ外通常郵便物及小

(限) (部)



海軍公報 (部内限) 第三千五百八十七號

昭和十五年八月二十三日

九四七

海軍公報(部内限) 第三千五百八十七號 昭和十五年八月二十三日

九四八

包郵便物(特種郵便物ヲ含ム)宛名ハ
發信者ノ最寄鎮守府、要港部所在ノ郵便局又ハ東
京中央郵便局氣付

練習艦隊各艦宛
聯合艦隊ニ同ジ

1456

○ 艦船所在

△印ハ「ハ」セシノ
指定ヲ要セズ

○八月二十三日午前十時

【横須賀】

春日△殿島、比叡、夕張、日向、迅鯨、
吹雪、峯雲
▷五十鈴、▷劍埼△、瑞穂、駒橋

伊五△、伊六五△、伊六七、伊六六、伊七

伊五三、伊五四、伊五五、伊五七、

伊五六、伊五八

掃五△、掃六△

(高崎)△、(翔鶴)△、(津輕)△、(伊二三)△

(伊一七)△

【長浦】▷沖島

帆風、▷朝雲、山雲、汐風、夏雲

▷呂五七、呂五八、伊六、▷伊六八、

伊七〇、伊六九、伊七一、▷伊七三、

伊七二、伊八、▷伊七五、伊七四

掃一、掃二、▷掃三、掃四

【鶴見】(國後)△

【浦賀】(早潮)△、(時津風)△、(秋風)△

【館山】澤風△

【函館】白鷹

【吳】▷朝風

▷長鯨、八雲△、初鷹△、龍驤△、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、
親潮

▷呂六三、呂六八、呂六四、伊五九、

伊六〇、伊一六

雁

掃一六△、掃一五△、▷掃二三、掃一四

隱戸、樞野

(日進)△、(伊九)△、(伊一五)△、(伊二七)△

球磨

(夏潮)△、(浦風)△

【神戸】

▷伊一△、伊二△、伊三△

(瑞鶴)△、(伊一〇)△、(伊一九)△、(伊二〇)△、

(伊二一)△、(伊二三)△、(伊二五)△

【玉】

伊四△

▷因ノ島

▷吾妻△、龍田△、長良△、名取、若鷹、天龍、

木曾△

▷秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱

伊五二△

▷隼△、鴻△、鶴△、千鳥

(天津風)△、(嵐)△

青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、

出雲△、▷八重山

初春、夕月、卯月、夕風、皐月、▷水無月、

海軍公報(部内限)第三千五百八十七號

昭和十五年八月二十三日

九四九

長月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六二、呂六六、呂六七、呂六二、

伊六一、伊六四

掃一、掃二、呂掃一〇

敷島、佐多

(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、

【長崎】野島

【若宮】呂六五

【鎮海】香取、鹿島

【作業地】安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、伏見、隅田、橋立、

鳥海、嵯峨、口古守、口磐手、口千歳、神威、

山口、多摩、常磐、能登、勝力、川内、

長門、陸奥、山城、伊勢、金剛、榛名、

加古、古鷹、阿武隈、赤城、高雄、

摩耶、愛宕、羽黒、那智、熊野、鈴谷、

三隈、最上、利根、筑摩、那珂、

飛龍、蒼龍、神通

栗、梅、逆、朝風、松風、日子日、若葉、

初霜、春風、旗風、沖風、峯風、神風、

波風、野風、沼風、如月、彌生、望月、

睦月、東雲、白雲、叢雲、薄雲、

朝霧、天霧、夕霧、村雨、春雨、夕立、

五月雨、江風、涼風、海風、山風、

白露、夕霖、有明、時雨、綾波、浦波、

大潮、朝潮、荒潮、滿潮、黑潮、雪風、

初風、霞、霞、陽炎、不知火、曉、

雷、電、響、潮、曙、漣、朧、初雪、

白雪、矢風

呂三四、呂三三、伊一二一、伊一二二、

伊一二四、伊一二三、呂五九

鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃八、掃一七、掃一八、掃九

朝日、鳴戸、室戸、鶴見、攝津、早瀬、

襟裳、明石、宗谷、間宮、大泊

【航海中】

尻矢 (十日羅府發「ホノルル」)

石廊 (二十一日徳山發「横須賀」)

知床 (二十一日舞鶴發「佐世保」)

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千五百八十八號

昭和十五年八月二十四日(土)

海軍大臣官房

○ 雜 款

○旗艦復歸
第一遣支艦隊司令長官ハ八月二十一日旗艦ヲ橋立ヨリ
安宅ニ復歸セリ

○司令潜水艦一時變更
第六潜水隊司令ハ八月二十一、二十二、二十三ノ各日
司令潜水艦ヲ一時呂號第五十七潜水艦ヨリ呂號第五十
八潜水艦ニ變更孰モ同日復歸セリ

海軍公報(部内限)第三千五百八十八號 昭和十五年八月二十四日

九五二

1459

○艦船所在 △印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

○八月二十四日午前十時

【横須賀】春日△、嚴島、比叡、夕張、日向、迅鯨、

▽五十鈴、▽劍埼△、瑞穂、駒橋

峯雲

伊五△、伊六五△、伊六七、伊七、

伊五三、伊五四、伊五五、伊五七、

伊五六、伊五八

掃五△、掃六△

石廊

(高崎)△、(翔鶴)△、(津輕)△、(伊二三)△

(伊一七)△

【長浦】△、沖島

帆風、口朝雲、山雲、沙風、夏雲

伊五七、呂五八、伊六、伊六八、

伊七〇、伊六九、伊七一、伊七三、

伊七二、伊八、伊七五、伊七四、

伊六六

掃一、掃二、掃三、掃四

【鶴見】(國後)△

【浦賀】(早潮)△、(時津風)△、(萩風)△

【館山】澤風△

【函館】白鷹

△朝風

【吳】淺間、鬼怒△、大鯨△、妙高△、鳳翔、扶桑△

▽長鯨、八雲△、初鷹△、龍驤△、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、

親潮

伊六三、呂六八、呂六四、伊五九、

伊六〇、伊一六

雁

掃一六△、掃一五△、伊掃一三、掃一四

隱戸、櫻野

(日進)△、(伊九)△、(伊一五)△、(伊二七)△

球磨

(夏潮)△、(浦風)△

【神戸】

大井△

伊一△、伊二△、伊三△

(瑞鶴)△、(伊一〇)△、(伊一九)△、(伊二〇)△、

(伊二一)△、(伊二二)△、(伊二五)△

伊四△

【因ノ島】

吾妻△、龍田△、長良△、名取、蒼鷹、天龍、

木曾△

伊秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱

伊五二△

伊隼△、鴻△、鴨△、鵠△、千鳥

(天津風)△、(嵐)△

【佐世保】青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、

海軍公報(部内限)第三千五百八十八號

昭和十五年八月二十四日

九五三

出雲 ▲ 八重山

初春、夕月、卯月、夕風、阜月、戸水無月、長月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六七、戸伊六二、伊六一、伊六四

掃一一、掃一二、戸掃一〇

敷島 ▲ 佐多、知床

(八丈) ▲ (磯風) ▲ (伊一八) ▲ (伊二四) ▲ (伊二九) ▲

【長崎】野島

【若宮】呂六五

【鎮海】追風、疾風

【作業地】安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、二見、伏見、隅田、橋立、鳥海、嵯峨、戸占守、戸磐手、戸千歲、神威、由良、戸多摩、常磐、能登呂、勝力、戸川内、戸長門、陸奥、山城、伊勢、戸金剛、榛名、戸加古、古鷹、戸阿武隈、戸赤城、戸高雄、摩耶、愛宕、戸羽黒、那智、戸熊野、鈴谷、三隈、最上、戸利根、筑摩、戸那珂、戸飛龍、蒼龍、戸神通、戸香取、鹿島

栗、梅、蓮、戸朝風、松風、戸子日、若葉、初霜、戸春風、旗風、沖風、峯風、戸神風、波風、野風、沼風、戸如月、彌生、望月

【航海中】

尻矢 (十日羅府發「ホルル」)

陸月、戸東雲、白雲、叢雲、薄雲、戸朝霧、天霧、夕霧、戸村雨、春雨、夕立、五月雨、戸江風、涼風、海風、山風、戸白露、夕暮、有明、時雨、戸綾波、浦波、戸大潮、朝潮、荒潮、滿潮、戸黑潮、雪風、初風、戸霞、霞、陽炎、不知火、曉、雷、電、戸響、戸潮、曙、漣、戸初雪、白雪、吹雪、矢風、戸呂三四、呂三三、戸伊一一一、伊一二二、伊一二四、伊一二三、呂五九、鶯、鳩、雉、戸友鶴、初雁、真鶴、掃七、掃八、掃一七、戸掃一八、掃九、戸朝日、鳴戸、室戸、鶴見、攝津、早鞆、襟裳、明石、宗谷、間宮、大泊

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千五百八十九號

海軍大臣官房

昭和十五年八月二十六日(月)

○令 達

官房機密第五五六七號ノ二

昭和十五年八月二十四日

海 軍 大 臣

實驗研究制度調査委員會委員長殿

實驗研究制度調査委員會ニ關スル件訓令

委員長ハ委員ヲ督シ實驗研究機關制度ニ關シ調査研究シ其ノ成果ヲ昭和十五年十一月三十日迄ニ報告スベシ委員長ハ必要ニ應ジ委員以外ノ關係員ノ出席ヲ求ムルコトヲ得

第一項ノ報告終了次第本委員會ハ之ヲ廢止ス

○通 牒

官房第四三九五號

昭和十五年八月二十六日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ關スル件通牒

來八月二十八日關東州周水會大連飛行場ニ於テ命名式舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍及寫真撮影等ニ關シテハ左記ニ依ルコトト了知相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

報國號番號	名 稱	機 種	要 目
第三二九號	煤鐵號	艦上爆擊機	座席 一、四米 全幅 一、四米 全長 九、四米 全高 三、九米
二、寫真撮影(特ニ許可ヲ得タルモノノ外)禁止			

海人第一號ノ一三〇

昭和十五年八月二十六日

海 軍 省 人 事 局 長

關係各所屬長官
關係各所轄長)殿

海軍公報(部内限)第三千五百八十九號

昭和十五年八月二十六日

九五五

召集中ノ特務士官以下ノ臨時考課表ニ關スル件申進

召集中ノ特務士官以下ニ對スル海軍考課表規則第八條ノ規定ニ依ル臨時考課表ハ彙ニ之ヲ省略シ得ルコトニ定メラレ候處自今同規則第八條ノ規定ニ依リ處理スルコトニ改メラレ候條了知相成度

○ 辭 令

海軍中將 住山徳太郎

實驗研究制度調査委員會委員長ヲ命ス

海軍少將 松木 益吉

同 高木 武雄

同 山縣 正郷

同 阿部 勝雄

同 宇垣 綱

海軍大佐 山口 次平

同 島本 久五郎

同 柳本 柳作

同 仁科 宏造

同 湊 慶讓

同 石塚 千俊

(各通)

海軍中佐 石畑 四郎

同 川 井 巖

同 三 和 義 勇

同 山 岡 三 子 夫

同 長 澤 浩

同 小 林 淑 人

海軍少佐 山 田 盛 重

同 森 實

海軍機關大佐 渡 邊 瑞 彦

同 久 保 田 芳 雄

海軍機關中佐 石 松 祐 雄

海軍軍醫大佐 大 須 賀 都 美 次

海軍軍醫中佐 川 田 理

同 野 村 守

海軍主計大佐 爲 本 博 篤

實驗研究制度調査委員會委員長ヲ命ス

海軍大佐 澤 田 虎 夫

同 岡 田 次 作

同 矢 野 英 雄

同 千 田 金 二

同 岡 田 爲 次

(各通)

海軍中佐 鹿岡 圓平

同 古川 文次

同 藤尾 勝夫

同 岡部 三四二

同 井上 憲一

同 川崎 松平

同 山川 周吉

海軍少佐 池上 二男

海軍機關中佐 松永 三郎

同 今田 乾吉

海軍機關少佐 齋藤 孝吉

海軍主計中佐 山沖 芳市

同 初見 盈五郎

實驗研究制度調査委員會委員(幹事)ヲ命ス(以上

海軍省)

海軍主計大尉 高倉 照藏

上海航路部ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費

分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 清水 惟太

右同分任出納官吏ヲ免ス(以助支出官 海軍省經理

局長)

海軍公報(部内限) 第三千五百八十九號 昭和十五年八月二十六日

九五七

○ 艦船所在

△印ハ「ハ」ホシノ
指定ヲ要セズ

○八月二十六日午前十時

【横須賀】春日△殿島、比叡、夕張、日向、迅鯨、駒橋

峯雲

伊五△、伊六五△

掃五△、掃六△

石廊

(高崎)△、(翔鶴)△、(津輕)△、(伊二三)△

(伊一七)△

【長浦】△沖島

帆風、戸朝雲、山雲、汐風、夏雲

戸呂五七、呂五八、伊六

掃一、掃二、戸掃三、掃四

【鶴見】(國後)△

【浦賀】(早潮)△、(時津風)△、(秋風)△

【館山】澤風△

【函館】白鷹

戸朝風

大泊

【吳】淺間、鬼怒△、大鯨△、妙高△、鳳翔、扶桑△

△長鯨、八雲△、初鷹△、龍驤△、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、親潮

戸呂六三、呂六八、呂六四、伊五九、伊六〇、伊一六

雁

掃一六△、掃一五△、戸掃一三、掃一四

隱戸

(日進)△、(伊九)△、(伊二五)△、(伊二七)△

球磨

(夏潮)△、(浦風)△

【神戸】

大井△

戸伊一△、伊二△、伊三△

(瑞鶴)△、(伊一〇)△、(伊一九)△、(伊二〇)△

(伊二一)△、(伊二二)△、(伊二五)△

【玉】

伊四△

【因ノ島】

菊月、戸三日月

【舞鶴】

吾妻△、龍田△、長良△、名取、蒼鷹、天龍、木曾△

戸秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱

【佐世保】

青葉△、衣笠、加賀、霧島、北上、尾柄、出雲△、戸八重山

初春、夕月、卯月、夕風、皋月、戸水無月、長月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百九十號

昭和十五年八月二十七日(火)
海軍大臣官房

○通牒

海人第二三三號

昭和十五年八月二十四日

海軍省人事局

關係各廳御中

現役海軍士官名簿、同特務士官准士官名簿
及海軍文官名簿返却ニ關スル件照會

首題名簿ハ新名簿受領又ハ不要トナリタルトキハ速ニ
返却ヲ要スルモノナル處舊名簿ニシテ未ダ返却セラレ
ザル向有之(昭和十二、三年度名簿ハ表紙指定ニ拘ラ
ズ返却)整理上差支候條至急返却相成度尙各廳ニ於テ
舊名簿ノ保有ハ一般ニ認メラレザルモノニ付御承相
成度

追テ艦船部隊(特設艦船部隊ヲ含ム)ノ改廢、無定
員トナリタル際等ハ艦、隊名改稱等ノ如キ場合ヲ除
キ他ニ轉用スルコトナク速ニ返却セラレ度

人祕第四號ノ三一

昭和十五年八月二十七日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

戰傷病ニ因ル死歿者ノ功績具申又ハ死亡
通知ニ關スル件通牒

支那事變ニ於テ戰傷ヲ受ケ又ハ戰病ニ罹リ之ニ起因シ
死歿シタル者ニ對シテハ其ノ功績具申ニ際シ特ニ左記
書類ヲ添附進達相成度

追テ生存者トシテ功績具申後本號ニ該當死歿シタル
者(本通牒日以前ニ死歿シ行賞未發表ノモノヲ含ム)
アルトキハ同様書類ヲ添附シテ旨速ニ人事局長宛
通知相成度

記

- 一、戰傷ヲ受ケ又ハ戰病ニ罹リタルトキノ狀況ヲ詳記
シタル現認證明書又ハ事實證明書及診斷證書ノ寫
- 二、戰傷又ハ戰病ニ起因シ死歿シタルコトヲ證スベキ
書類(負傷又ハ罹病ヨリ死歿迄ノ經過概要書及死亡

海軍公報(部内限) 第三千五百九十號

昭和十五年八月二十七日

九六一

診断書寫)

○ 辭令

司法事務官 吉田 綱紀
海軍省建築局土木建築事務囑託ノ報酬トシテ金五拾圓ヲ贈與ス

海軍省建築局土木建築事務囑託ヲ解ク(註海軍省)

(各通) 五百七拾圓 金井 清
四百八拾五圓 甘濃 益三郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

(各通) 山崎 水哉 輻館 高次 寺崎 英成

領事兼三等書記官 支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上註海軍省)

東京海軍通信隊大和田分遣隊業務囑託ヲ解ク(註海軍省) 倉地 角重 九州帝國大學教授 渡邊 久吉

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金六百圓ヲ贈與ス(註海軍省)

海軍豫備中尉 河合 友司
支那方面艦隊事務ヲ囑託ス

武田 博

支那方面艦隊事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

典亞院事務官 篠川 正次

第二遣支艦隊事務ヲ囑託ス

司法書記官 中尾 文策

海軍省建築局土木建築事務ヲ囑託ス

梶山 司治

海軍ニ於ケル造船業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

囑託 梶山 司治

海軍艦政本部長ノ命ヲ承ケ服務スベシ(以上註海軍省)

○ 雜款

○將旗復歸

第二遣支艦隊司令長官ハ八月二十三日將旗ヲ島海ニ復歸セリ

○艦船所在

△印△ハ△ホ△セ△ゾ
指定ヲ要セズ

○八月二十七日午前十時

【横須賀】

春日△嚴島、比叡、夕張、日向、迅鯨、駒橋

峯雲

伊五△伊六五△

掃五△掃六△

(高崎)△(翔鶴)△(津輕)△(伊二三)△

(伊一七)△

【長浦】

帆風、戸朝雲、山雲、汐風、夏雲

戸呂五七、呂五八、伊六

掃一、掃二、戸掃三、掃四

【鶴見】

(國後)△

【浦賀】

(早潮)△(時津風)△(萩風)△

【館山】

澤風△

【大湊】

呂五九

【函館】

白鷹

戸朝風

【吳】

淺間、鬼怒△大鯨△妙高△鳳翔、扶桑△

長鯨、八雲△龍驤△千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、親潮

戸呂六三、呂六八、呂六四、伊五九、

戸伊六〇

艦

掃一六△掃一五△

隱戸、間宮

(日進)△(伊九)△(伊一五)△(伊二七)△

球磨

(夏潮)△(浦風)△

【大阪】

大井△

戸伊一△伊二△伊三△

(瑞鶴)△(伊一〇)△(伊一九)△(伊二〇)△

(伊二一)△(伊二二)△(伊二五)△

【玉】

伊四△

【因ノ島】

菊月、戸三日月

【豊後水道】

戸初鷹

戸掃一三、掃一四

【舞鶴】

吾妻△龍田△長良△名取、蒼鷹、天龍、木曾△

戸秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱

伊五二△

戸隼△鴻△鴨△鶴△千鳥

(天津風)△(嵐)△

青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、尾柄、出雲△戸八重山

初春、夕月、卯月、夕風、皐月、戸水無月、長月、交月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

海軍公報(部内限)第三千五百九十號

昭和十五年八月二十七日

九六三

呂六二、呂六五、呂六六、呂六七、
 伊六一、伊六一、伊六四
 掃一、掃二、掃一〇、掃九
 敷島、佐多、知床

(八丈)△(磯風)△(伊一八)△(伊二四)△
 (伊二九)△

【長崎】野島
 【鎮海】追風、疾風
 【ホノルル】尻矢

【作業地】安宅、口熱海、鳥羽、勢多、堅田、
 比良、保津、二見、伏見、隅田、橋立、
 口島海、嵯峨、口古守、口磐手、口千歳、神威、
 口山良、口多摩、常磐、能登呂、勝力、口川内、
 口劍崎、口長門、陸奥、山城、伊勢、口金剛、
 口榎名、口加古、古鷹、口阿武隈、口赤城、
 口高雄、摩耶、愛宕、口羽黒、那智、口熊野、
 口鈴谷、三隈、最上、口利根、筑摩、口那珂、
 口五十鈴、口飛龍、蒼龍、瑞穂、口神通、
 口香取、鹿島

栗、梅、蓮、口朝風、松風、口子日、若葉、
 初霜、口春風、旗風、沖風、峯風、口神風、
 波風、野風、沼風、口如月、彌生、望月、
 睦月、口東雲、白雲、叢雲、薄雲、
 朝霧、口天霧、夕霧、口村雨、春雨、夕立、
 五月雨、口江風、涼風、海風、山風、

【航海中】

口沖島 (二十六日長浦發「父島」)
 樫野 (二十六日福浦發「佐世保」)
 石廊 (二十六日横須賀發「オハ」)
 大泊 (二十七日函館發「大湊」)

口白露、夕暮、有明、時雨、口綾波、浦波、
 口大潮、朝潮、荒潮、滿潮、口黒潮、雪風、
 初風、口波、霞、陽炎、不知火、曉、
 雷、電、口響、口潮、曙、漣、口初雪、
 白雪、吹雪、矢風
 呂三四、呂三三、口伊一二一、伊一二二、
 伊一二四、伊一二三、口伊五三、伊五四、
 伊五五、口伊五七、伊五六、伊五八、
 伊六七、伊六六、伊七、口伊七五、伊七四、
 伊七八、伊六九、伊七〇、口伊七三、
 伊七一、伊七二、伊八、伊一六
 鷺、鳩、雉、口友鶴、初雁、真鶴
 掃七、掃八、掃一七、口掃一八
 口朝日、鳴戸、室戸、鶴見、攝津、早瀬、
 襟裳、明石、宗谷

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千五百九十一號

昭和十五年八月二十八日(水)
海軍大臣官房

○通牒

官房機密第五七六六號

昭和十五年八月二十八日

海軍次官

關係各廳長殿

航空基地勤務員ノ從軍加算ニ關スル件通牒

昭和十五年四月二十七日附内閣告示第五號從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件中第二支那事變第二項ニ於テ省略セラレタル航空基地及航空基地タル期間ハ左記上、中欄ノ通ニシテ下欄記載ノ海軍航空隊ノ勤務員ニ適用セラレ候

記

航空基地	航空基地タル期間	航空部隊
朝鮮濟州島	自昭和十二年八月十五日 至同十二年十一月十九日	木更津海軍航空隊
臺灣臺北	自昭和十二年八月十四日 至同十二年十二月十日	鹿屋海軍航空隊

臺灣高雄	自昭和十三年四月二十七日 至同十三年七月二十五日	高雄海軍航空隊
臺灣臺北	自昭和十三年八月二十七日 至同十三年九月二日	隊

海人機密第四七號

昭和十五年八月二十八日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

海軍航空隊ノ勤務員ニシテ特殊勤務ニ従事シタル者ノ從軍加算ニ關スル件通牒

戰地以外ノ地ニ在ル海軍航空隊ノ勤務員ニシテ支那事變ニ關シ作戰命令ニ依リ戰地ニ派遣セラレ戰務ニ従事タルトキ又ハ航空機搭乗員トシテ航空機ニ搭乗シ戰地ニ往復シタル者ノ恩給年、被勸年加算並ニ之ガ取扱方別紙ノ通定メラレ候

(別紙一葉添)

○辭令

海軍公報(部内限)第三千五百九十一號 昭和十五年八月二十八日

九六五

1471

屋井 鎮雄

海軍省事務兼海南島海軍特務部事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千八百八拾圓ヲ給シ部内限奏任官

待遇トス(海軍省)

(各通)

通信書記補 河島 紀元

同 板井 防

第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 阿部 日出生

同 益田 政彦

同 船津 裕

同 山田 三好

第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上各同)

○ 雜 款

○將旗移揚

第一遣支艦隊司令長官ハ八月二十六日將旗ヲ熱海ニ移揚セリ

吳防備戰隊司令官ハ八月二十六日將旗ヲ一時初鷹ニ移揚セリ

○將旗移揚、復歸

大湊要港部司令官ハ八月二十六日將旗ヲ第八號驅潛艇ニ移揚即日要港部司令部ニ復歸セリ

○削除

七月二十三日八二三頁辭令欄栗川久一ハ削除ス

(別紙)

(昭和十五年八月二十八日海軍公報(部内限))

戦地外航空隊勤務員ノ勤務種別	適用範圍	加算區分	取扱方法
一、作戰ニ關スル命令ニ依リ戦地ニ派遣セラレ戦務ニ從事シタル者 (派遣隊員)	昭和十二年七月七日以後	昭和十三年官房第三二七四號第二(一)若ハ(二)ニ依リ戦地戦務トス	該當者ニ付テハ任務命令書寫及命令毎ニ左ノ事項ヲ記載セル一連名簿ニ通海軍省人事局長ニ送付ノコト(特務士官以下ニ付テハ在籍鎮守府ノ海軍人事部長宛別ニ二通送付ノコト) (イ) 加算ノ始期(内地出發ノ月日及地名) (ロ) 加算ノ終期(内地歸着ノ月日及地名) (ハ) 勤務地名 (ニ) 官(職)氏名 (ホ) 特務士官准士官ニ付テハ在籍鎮守府、下士官兵ニ付テハ兵籍番號
二、航空機乗員トシテ航空機ニ乗シ戦地ニ往復シタル者	(イ) 自昭和十二年七月七日至同十三年六月十六日 戦地ニ於テ偵察、哨戒等ノ任務ヲ兼ネシメラレタルモノニ限ル (ロ) 自昭和十二年七月七日至同十四年三月三十一日 (イ)ニ該當スルモノヲ除ク	昭和十三年官房第三二七四號第二ノ一(四)ニ依リ戦地戦務トス 加算期間ハ航空機ニ搭乘シタル期間トス	昭和十二年七月二十七日海人機密第一號ノ二五五ニ依ル航空特殊勤務日誌ニ依リ處理ノコト但シ當該期間固有勤務ニ對シ戦地外戦務トシテ加算ノモノニ付テハ別段ノ處理ヲ要セザルモノトス

○艦船所在

▲印ハ「ハセ」ノ指定ヲ要セズ

○八月二十八日午前十時

【横須賀】

春日▲、嚴島、比叡、夕張、迅鯨、駒橋

伊五▲、伊六五▲

掃五▲、掃六▲

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊一七)▲

【長浦】

帆風、朝雲、山雲、汐風、夏雲

呂五七、呂五八、伊六

【鶴見】

(國後)▲

【浦賀】

(早潮)▲、(時津風)▲、(萩風)▲

【館山】

日向

【天湊】

白鷺

【函館】

朝風

【吳】

淺間、鬼怒▲、大鯨▲、妙高▲、鳳翔、扶桑▲、長鯨、八雲▲、龍驤▲、千代田、吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、親潮

呂六三、呂六八、呂六四、伊五九、

伊六○

雁 掃一六▲、掃一五▲

隱戸、間宮

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

【大阪】

球磨

(夏潮)▲、(浦風)▲

【神戸】

大井▲

伊一▲、伊二▲、伊三▲、(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、(伊二一)▲、(伊二二)▲、(伊二五)▲

【玉】

伊四▲

菊月、呂三日月

【因ノ島】

初鷹

(豊後水産)

掃一三、掃一四

吾妻▲、龍田▲、長良▲、名取、蒼鷹、天龍、木曾▲

伊五二▲

呂隼▲、鴻▲、鴨▲、鷓▲、千鳥

(天津風)▲、(嵐)▲

青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、出雲▲、呂八重山

初春、夕月、卯月、夕風、草月、呂水無月、

劉萱

伊五二▲

海軍公報(部内限) 第三千五百九十一號

昭和十五年八月二十八日

九六七

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千五百九十二號

昭和十五年八月二十九日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房第四四七〇號
左記官房號ハ之ヲ廢止ス(濟)
昭和十五年八月二十九日

海 軍 大 臣

記

大正十五年官房第一〇九九號(經營需品及燃料ノ經理ニ關スル件訓令(海軍會計法規類集)下卷一六一頁參照)
昭和九年官房第一五三〇號(燃料代用トシテ薪使用ノ件訓令(經營需品燃料取扱)例規三六二頁參照)
昭和九年官房第四七八二號(軍艦平戸保管用需品ニ關スル件訓令(經營需品燃料取扱)例規一六五頁參照)

○通 牒

經監第一二〇號

昭和十五年八月二十八日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

昭和十三年三月經物第一〇六號第一項第四號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認致候

記

氏 名	住 所
横山工業株式會社	東京市麴町區内幸町二ノ八
大山田喜三郎(大淺組)	上海狄思威路四二八號
合資會社西本組	上海狄思威路六二九號
米 澤 大 植	上海康腦脫路隆智里六〇號
合資會社建材社	東京市日本橋區吳服橋三ノ七ノ三
株式會社福原友輔商店	大阪市東區北濱三ノ四七

海軍公報(部内限) 第三千五百九十二號

昭和十五年八月二十九日

九六九

合名會社小野鐵工所 大阪市港區抱月町三ノ六

○雜款

○司令掃海艇變更
第十一掃海隊司令ハ八月十九日司令掃海艇ヲ第十三號掃海艇ヨリ第十四號掃海艇ニ變更セリ

○委員會廢止
海軍工作應會計制度調查委員會及軍需品平時生産協定中央委員會ハ昭和十五年八月二十七日之ヲ廢止セラレタリ

海軍少佐從六位勳六等中島昌雄海軍航空兵曹長勳
七等鍵田次郎海軍一等航空兵曹狩野卓夫本月二十
二日飛行演習中遭難殉職同月二十四日軍艦神通ニ
於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

○正誤
昨二十八日公報(部内限)「航空基地勤務員ノ從軍加算ニ關スル件通牒」中件名番號「海人機密第四六號」ハ「官房機密第五七六六號」ノ、別紙加算區分ノ間「官房三二七四號第二ノ一」ハ「官房第三二七四號第二ノ一」ノ誤

○ 艦船所在

△印ハ「ハ」ホシノ
指定ヲ要セズ

○八月二十九日午前十時

【横須賀】

春日△、嚴島、比叡、夕張、退鯨、駒橋

峯雲

伊五△、伊六五△、伊五四

掃五△、掃六△

(高崎)△、(翔鶴)△、(津輕)△、(伊二三)△、
(伊一七)△

【長浦】

帆風、△朝雲、山雲、汐風、夏雲

△呂五七、呂五八、伊六

掃一、掃二、△掃三、掃四

【鶴見】

(國後)△

【浦賀】

(早潮)△、(時津風)△、(萩風)△

【館山】

日向

【大湊】

白鷹

呂五九

大泊

【函館】

△朝風

【吳】

淺間、鬼怒△、大鯨△、妙高△、鳳翔、

扶桑△、長鯨、八雲△、龍驤△、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、

親潮

△呂六三、呂六八、呂六四、伊五九、

△伊六〇

雁 掃一六△、掃一五△

隱戸、問宮

(日進)△、(伊九)△、(伊一五)△、(伊二七)△

【大阪】

球磨 (夏潮)△、(浦風)△

【神戸】

大井△

△伊一△、伊二△、伊三△

(瑞鶴)△、(伊一〇)△、(伊一九)△、(伊二〇)△、
(伊二二)△、(伊二三)△、(伊二五)△

【玉】

伊四△

菊月、△三日月

【因ノ島】

△初鷹

△掃一三、掃一四

【舞鶴】

吾妻△、龍田△、長良△、名取、蒼鷹、

天龍、木曾△

【秋風】

夕風、羽風、太月風、朝顔、芙蓉、

刈萱

【佐世保】

伊五三△

【津風】

△津風△、(風)△

【青葉】

衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、

出雲△、△八重山

初春、夕月、卯月、夕風、草月、△水無月、

長月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、
呂六二、呂六五、呂六六、呂六七、

伊六一、伊六一、伊六四

掃一、掃二、掃一〇、掃九

敷島、佐多、知床、樺野

(八丈) (磯風) (伊一八) (伊二四)

(伊二九)

【長崎】野島

【鎮海】追風、疾風

【作業地】

安宅、口熱海、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、二見、伏見、關田、橋立、口鳥海、
嗟峨、口古守、口磐手、口千歲、神威、
山良、口多摩、常磐、能登呂、勝力、口川内、
口劍崎、口長門、陸奥、山城、伊勢、口金剛、
榛名、口加古、古鷹、口阿武隈、口赤城、
口高雄、摩耶、愛宕、口羽黒、那智、口熊野、
鈴谷、三隈、最上、口利根、筑摩、口那珂、
口五十鈴、口飛龍、若龍、瑞穂、口神通、
口香取、鹿島、口沖島
栗、梅、蓮、口朝風、松風、口子日、若葉、
初霜、口春風、旗風、沖風、峯風、口神風、
波風、野風、沼風、口如月、彌生、望月、
睦月、口東雲、白雲、叢雲、薄雲、朝霧、
口天霧、夕霧、口村雨、春雨、夕立、五月雨、

口江風、涼風、海風、山風、口白露、夕暮、
有明、時雨、口綾波、浦波、口大潮、朝潮、
荒潮、滿潮、口黒潮、雪風、初風、口霞、
霞、陽炎、不知火、曉、雷、電、口響、
口潮、曙、漣、臘、口初雪、白雪、吹雪、
矢風

伊三三、伊三三、伊三一、伊三二、
伊二四、伊二四、伊五三、伊五五、
伊五七、伊五六、伊五八、伊六七、
伊六六、伊七七、伊七五、伊七四、伊六八、
伊六九、伊七〇、伊七三、伊七一、
伊七二、伊八、伊一六

鷺、鳩、雄、口女鶴、初雁、真鶴
掃七、掃八、掃一七、口掃一八

口朝日、鳴戸、室戸、鶴見、攝津、早瀬、
襟裳、明石、宗谷

【航海中】

石廊 (二十六日横須賀發「オハ」)
尻矢 (二十六日「ホノルル」發「横須賀」)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十五年八月二十九日(木)

○令 達

官房機密第五七四九號

昭和十三年官房機密第二二五四號中左ノ通改正ス

昭和十五年八月二十八日

海 軍 大 臣

別表防暑被服ノ部表中准士官以上防暑作業衣ノ項製式ノ欄ニ左ノ一項ヲ加フ

襟部ニ軍衣襟章ヲ附ス

(参照) 昭和十三年官房機密第二二五四號ハ艦船部隊(特設艦船部隊ヲ含ム)ニ勤務スル者ニ特種被服物品貸與ノ件ナリ(昭和十三年四月二十七日海軍公報(部内限))

○通 牒

官房機密第五七五〇號

昭和十五年八月二十八日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

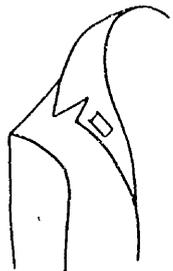
海軍公報 (部内限) 號外

准士官以上防暑作業衣襟章ニ關スル件通知
官房機密第五七四九號ヲ以テ改正相成候准士官以上防暑作業衣ノ襟部ニ附スベキ軍衣襟章ハ左記ニ依リ縫著スルモノニ有之候

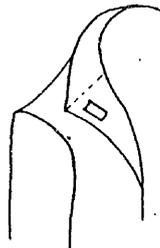
記

襟章ハ被服物品トシテ貸與セラレズ各自所持ノ軍衣襟章ヲ左ノ位置ニ縫著スルモノトス

(右標ノ例)



(十三年改正ノモノ)



(以前ノモノ)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百九十三號

昭和十五年八月三十日 (金)
海軍大臣官房

○ 通 牒

經給第八五號

昭和十五年八月二十九日

海軍省 經理局

關係各廳御中

稅票作成ヲ省略セラレタル者ノ所得稅徵收ニ關スル特例ノ件通牒

進級増俸増給等ノ爲又ハ從軍者非從軍者トナリタル爲年ノ中途ニ於テ稅票ノ作成ヲ要スルニ至リタルトキ當初ヨリ稅票ヲ作成シ整理シタリントセバ毎月ノ基礎控除不足額又ハ控除稅額不足額ヲ賞與ヨリ控除シ得ベキ者ナル場合ニハ本人所屬廳ニ於テ其ノ年一月一日(本年ニ限リ四月一日)ニ遡リ課稅所得ヲ調査ノ上稅票ヲ作成シ該基礎控除不足額又ハ控除稅額不足額ヲ賞與ヨリ控除スル義ト了知相成度

追テ從軍中ノ所得ハ所得稅徵收手續別表第一ニ掲グル所得ニ付課稅セラルルモノトシテ之ヲ計算スル義

ト了知相成度

○ 辭 令

海軍主計少佐 中村 守男
第二航空廠ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 和泉 承司
右同分任出納官吏ヲ免ス(公費支出官 海軍省經理局長)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
橫須賀防備戰隊司令官ハ八月二十六日將旗ヲ一時橫須賀防備隊ニ移揚セリ

○殘務整理
第十一根據地隊殘務整理事務所ヲ橫須賀防備戰隊司令部内に設置シ八月二十四日事務開始セリ

海軍公報 (部内限) 第三千五百九十三號

昭和十五年八月三十日

九七三

○艦船所在

△印ハ「ハホ」ノ
指定シ要セズ

○八月三十日午前十時

【横須賀】

春日△、嚴島、比叡、夕張、迅鯨、駒橋、日向、峯雲

伊五△、伊六五△、伊五四

掃五△、掃六△

(高崎)△、(翔鶴)△、(津輕)△、(伊二三)△、(伊一七)△

【長浦】

帆風、△朝雲、山雲、汐風、夏雲

△呂五七、△呂五八、伊六

掃一、掃二、△掃三、掃四

【鶴見】

(國後)△

【浦賀】

(早潮)△、(時津風)△、(萩風)△

【館山】

澤風△

【大湊】

白鷹

△呂五九

大泊

【兩館】△朝風

【吳】

淺間、鬼怒△、大鯨△、妙高△、鳳翔、扶桑△、長鯨、八雲△、龍驤△、千代田

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、狹霧、親潮

△呂六三、△呂六八、△呂六四

雁

掃一六△、掃一五△

隱戸

(日進)△、(伊九)△、(伊一五)△、(伊二七)△

【天阪】

球磨 (夏潮)△、(浦風)△

【神戸】

大井△

△伊一△、△伊二△、△伊三△

(瑞鶴)△、(伊一〇)△、(伊一九)△、(伊二〇)△、(伊二一)△、(伊二二)△、(伊二五)△

【玉】

伊四△

【因ノ島】

菊月、△呂三日月

【本浦】

△伊六〇、△伊五九

【豊後水道】

△初應

【舞鶴】

△掃一三、△掃一四

【天龍】

吾妻△、龍田△、長良△、名取、蒼鷹、木曾△

【秋風】

夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、劉登

【伊五二】

△伊五二

【津集】

△鴻△、△鴨△、△千鳥 (天津風)△、(嵐)△

【佐世保】

青葉、衣笠、加賀、霧島、北上、足柄、出雲△、△八重山

【初春】

△夕月、△卯月、△夕風、△草月、△水無月、△長月、△文月

長月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、
呂六二、呂六五、呂六六、呂六七、
伊六一、伊六一、伊六四
掃一一、掃一二、掃一〇、掃九

敷島、佐多、知床

(八丈) (磯風) (伊二八) (伊二四)
(伊二九)

【長崎】
【鎮海】
【作業地】

野島、櫻野
安宅、口熱海、鳥羽、勢多、墾田、比良、
保津、二見、伏見、岡田、橋立、口鳥海、
嵯峨、口古守、口磐手、口千歳、神威、
山良、口多摩、常磐、能登呂、勝力、口川内、
口劍崎、口長門、陸奥、山城、伊勢、口金剛、
榛名、口加古、古鷹、口阿武隈、口赤城、
口高雄、摩耶、愛宕、口羽黒、那智、口熊野、
口高谷、三隈、最上、口利根、筑摩、口那珂、
口五十鈴、口飛龍、若龍、瑞穂、口神通、
口香取、鹿島
栗、榎、蓮、口朝風、松風、子日、口若葉、
初霜、口春風、旗風、沖風、峯風、口神風、
波風、野風、沼風、口如月、彌生、望月、
睦月、口東雲、白雲、叢雲、薄雲、朝霧、
夕霧、口村雨、春雨、夕立、五月雨、
口江風、涼風、海風、山風、口白露、夕暮

有明、時雨、口綾波、浦波、口大潮、朝潮、
荒潮、滿潮、口黒潮、雪風、初風、口波、
霞、陽炎、不知火、曉、雷、電、口響、
口潮、曙、漣、朧、口初雪、白雪、吹雪、
矢風

呂三四、呂三三、口伊二二、伊二二、
口伊二四、伊二四、口伊五三、伊五三、
口伊五七、伊五七、口伊五八、伊五八、
口伊六六、伊六六、口伊七五、伊七五、
口伊六八、伊六八、口伊七〇、伊七〇、
口伊七三、伊七三、
伊七二、伊八、伊一六
鷺、鳩、雄、口友鶴、初雁、真鶴
掃七、掃八、掃一七、口掃一八
口朝日、鳴戸、室戸、鶴見、攝津、早瀬、
樺裳、明石、宗谷、間宮

【航海中】

石廊 (二十六日横須賀發「オハ」)
尻矢 (二十六日「ホノルル」發「横須賀」)
口沖島 (二十九日作業地發「横須賀」)